

< 担い手への農地集積等を実施している事例 >

## 集落ぐるみの農業生産活動の体制整備を目指して

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	富山県 <small>おやべし</small> 小矢部市 <small>みねつぼの</small> 峯坪野			
協定面積 32.7ha	田(100%) 水稲	畑	草地	採草放牧地
交付金額 607万円	個人配分			0%
	共同取組活動 (100%)	農業生産活動費		82%
		水路・農道等維持管理費		14%
		多面的機能増進活動費		4%
協定参加者	農業者6人、生産組織1組織			

### 2. 取組に至る経緯

当集落は、水稲を基幹農作物とする地域であるが、農業従事者の高齢化に伴い、個々の農家毎に行う農業活動のままでは、農地の荒廃化や今後の農業の継続が心配されていた。

このため、直接支払制度が成立されたことをきっかけとして、これまで個々人により営んできた農業活動について、今後のあり方を集落全体で話し合ったところ、集落の農家が協力し合い、農地はもとより水路やため池等の土地改良施設をも含め、集落全体で維持し、さらには補修を行い、地域全体で農業活動を支えていくこととなった。同時に、機械購入や農作業等を共同で行うことにより、営農コストの低減化、効率化を目指した。

### 3. 取組の内容

当集落は、平成12年度に集落協定を締結し、ため池や農道の草刈、清掃を行い、集落の農地を維持してきた。また、営農活動については、昭和59年に集落営農組織を立上げ、集落の農家が本組織に参加することにより農地の集積化を図った。今では、荒起し～刈取り、育苗、乾燥調整、草刈り等、農作業の大半を集落全体で役割分担しながら取り組んでいる。

本集落での営農活動の特色としては、集落内の水田の地力増進を図るため、集落全ての水田へ共同での鶏糞散布を行っている。これも、農地を個々人の持ち物としてではなく、共同での持ち物として位置づけたことによる成果だと捉えている。



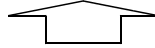
共同での用水補修



共同での草刈り作業

[ 集落の将来像 ]

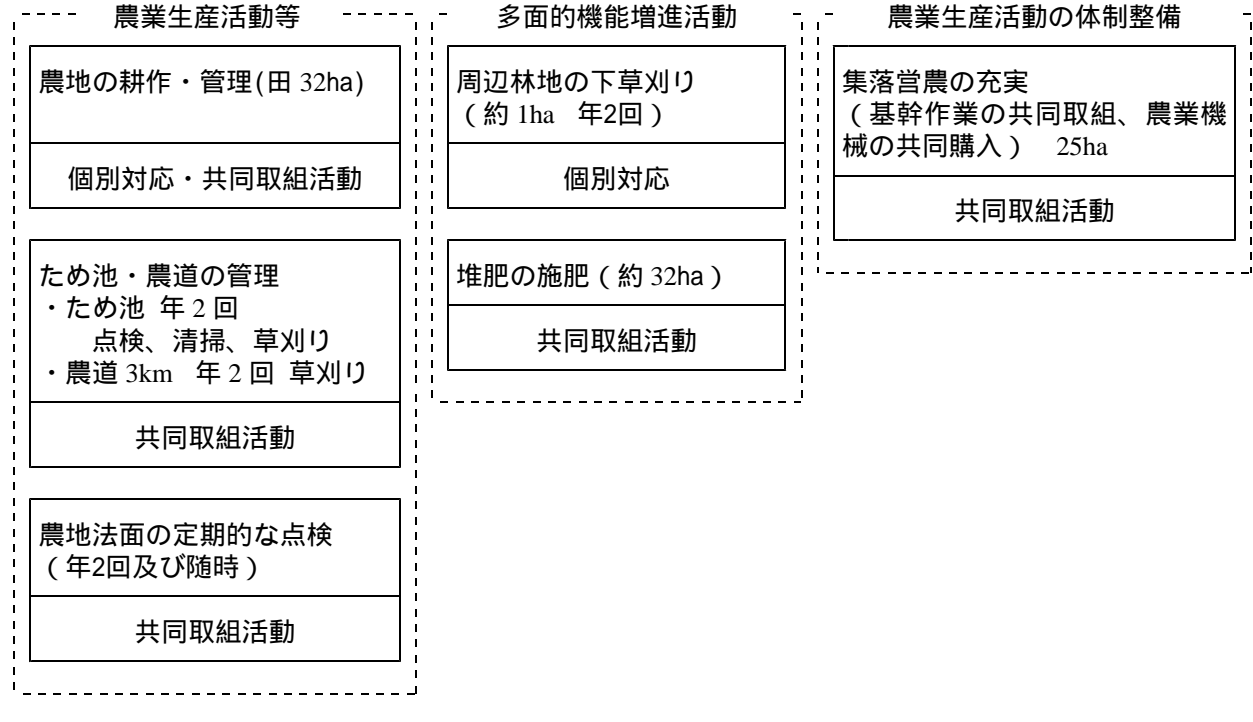
集落ぐるみの農業生産活動の体制整備を図るため、営農組織をますます充実した強固なものとする。また、今後の営農組織を担っていくため、定年帰農者等を活かした継続的な営農体制の整備を目指す。



[ 将来像を実現するための活動目標 ]

将来にわたる継続的な農業を実現するため、個人で耕作・管理する個別完結型農業から峯坪野営農組合を中心とした集落型農業への転換を行い、さらには近隣他集落農家との連携を目指した共同活動の実践を図る。

[ 活 動 内 容 ]



4 . 取組による変化と今後の課題等

農業機械の共同購入や農作業の共同化により、これまで個々人が苦勞して維持してきた農業活動について、作業量が減少し効率化を図れた。また、集落共同で作業を行うことを通じ、集落のまとまりの輪が強くなっている。

今後は、未だ各農家個別で行っている水稻防除作業の共同化を推進していくとともに、若手労働力の確保を図っていききたい。そして、本地域農業を未来永劫継続できるよう発展させ、農地の機能維持、農山村としての景観を保全していきたい。

[ 平成20年度までの主な成果 ]

機械農作業の共同化の推進

田耕起、代かき、田植え、稲刈り、育苗等の共同化(当初24ha、目標25ha、H20実績25ha)

担い手(集落営農組織)への農地集積

峯坪野営農組合(30戸)への農地集積(当初25.2ha、目標33ha、H20実績25.4ha)

多面的機能の増進

集落内全ての水田に鶏糞散布(約32ha)

土地改良施設の維持管理

ため池3箇所、農道3kmの草刈り等